

猛暑の夏がいつまでも居座り、短い秋から一気に寒い冬の便りが聞こえてくるこの頃となりました。今年のインフルエンザは比較的早くから顔を出し始め、10月下旬から11月中旬にかけて急増しました。昨年の11月中旬から12月中旬にかけて一気に急増した時と比較すれば低い山のような動きですが、今年は1か月ほど早く動きが出たことになり、一般診療は多忙な晩秋であったと思います。季節による感染症の動きが大きく変化している現在、インフルエンザが今後どのような動きになっていくかは予測し難いところですが、穏やかな新年となることを切に願います。

さて、本誌12月号は、小児科学会分科会および関連学会を代表する方々にお願ひし、各領域における2025年の3大トピックスを挙げていただき「一括アップデート！各領域の3大ニュース・トピックス2025」とする特集ができました。小児科の中でも専門分化が進み、関心はあってもなかなか他分野の動きを追うことが難しくなっている昨今ですが、それぞれの分野のエキスパートが示された、実臨床、サイエンス、社会的重要性などについてのニュース・トピックス、そして新たに発表あるいは改訂・追補されたガイドラインや手引きの紹介などに、一括し

て触れることができる大変有用な特集ができあがったと思いますので、是非ご一読ください。一部トピックスがオーバーラップしているところなどもありますが、それぞれの分野で重要性を感じられたものとしてお読みいただければと思います。ご多忙の中にありながら快くご寄稿くださった先生方には厚く御礼申し上げます。

本特集の「腎」のテーマで、中西浩一先生が「臨床に追われる日々の中で、基礎研究や海外留学の機会を持つことが次第に難しくなっていることが憂慮される。学会はこの現状を打破し若者を鼓舞し支援していかなければならない」と述べ、2027年に京都で開催される「21st Congress of the International Pediatric Nephrology Association 2027」の誘致と開催の意義についてとりあげておられます。心底同意するものであり、若手の先生方には、その専門分野を問わず是非目を通していただきたい一文と思います。

まもなく本年も暮れますが、皆様どうぞ良い年をお迎えください。

(岡部 信彦)

編集：中西敏雄・岡部信彦・清水直樹・高橋孝雄（ABC順）

小児科

第66巻 第13号 12月号

2025年12月1日発行（毎月1回1日発行）

定価 3,190 円（本体 2,900 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 49,500 円（本体 45,000 円＋税 10%）

〔年間13冊（増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03-3811-7165〔雑誌部直通〕

Tel 03-3811-7184〔営業部直通〕

Fax 03-3813-0288

www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03-3637-0005

広告申込先 株式会社文京メディカル Tel 03-3817-8036

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。